



#1 うなぎのぼりのマグロの正体

知っていますか 水高マグロのこと

マグロといえば、大トロ、中トロ、赤身……。想像しただけでよだれが出てきそうです。そのおいしいマグロの特集を、なぜ広報紙でするのかというと、福津市がマグロに熱い地域だからです。果たして水高マグロとは何なのか、まずはここから始まります。

マグロより 青魚の福岡県民

九州は、関東や関西とは違い、それほどマグロ好きではないといわれます。事実、総務省の家計調査によると九州のマグロ消費量は低いという結果になっています。

なかでも福岡県はマグロより青魚を好む文化があります。それは、目の前に玄界灘が広がり、アジ、サバ、ヒラマサ、ブリなど、新鮮な青魚が豊富に捕れるからかもしれません。レストランや居酒屋などで、マグロよりも青魚のメニューが豊富なのもうなずけます。

でもマグロに熱い 福津市民

そんな福岡県にあるにも関わらず、マグロに熱いのが、なんとここ福津市です。2日間だけの期間限定ですが、市内で福津産ともいえる貴重なマグロの販売があり、それに長蛇の列をなすのです。そう、そこで販売される貴重なマグロこそが、「水高マグロ」と呼ばれているもの

なのです。

「福津産」や「水高」といわれても何のことかと疑問に思われた方もいるかもしれませんが、市内の津屋崎漁港や福岡漁港でマグロが水揚げされているわけではありませんし、そんな話は聞いたことがないと思います。

水産高校生が 捕ってくるマグロ

なぜ「福津産」ともいえる」というのか。もちろん理由があります。市内にある県立水産高校の生徒たちが実習で捕ってきたマグロだからです。そのマグロを水産高校マグロ、略して「水高マグロ」と呼んでいるのです。生徒たちにとっては初めての遠洋漁業であるマグロはえ縄漁業実習です。期間は2か月間。その年その年の天候や潮の動きなどに左右され、不漁のときもあります。限られた期間の実習です。当然、捕れる量も限られています。貴重なマグロですが、福津市に毎日通学する生徒たちが初めて捕ってきたマグロです。だからこそ気持ちが熱くなり、食べてみたいと、購入に列をなすのかもしれない。



▲博多港にある福岡市中央卸売市場に水揚げされる「水高マグロ」



海友丸カメラリポート
 博多港で中学生向けに催された実習船「海友丸」体験乗船に参加し写真を撮ってきました。
 ①海友丸 ②操舵室 ③風呂場 ④急速冷凍室 ⑤部屋は2段ベット ⑥洗濯室



#2 マグロはえ縄漁業実習 今頃、生徒は 太平洋のど真ん中

マグロはえ縄漁業実習で使用している船はどのような船なのでしょう。実習内容はどうなものなのでしょう。県立水産高校の月俣誠司副校長に話を伺いました。

つきたせいじ
 ◀月俣誠司副校長
 県立水産高校に赴任
 して3年目 (53歳)

福岡、長崎、山口
 3県で順番に実習

「実習船は海友丸という福岡県、長崎県、山口県の3県共同購入の船で、定員90人、約700トンです」と副校長。約700トンの大きな船は津屋崎漁港や福岡漁港で見たことがありません。不思議に思っただけでみると、博多港に泊まっているということでした。

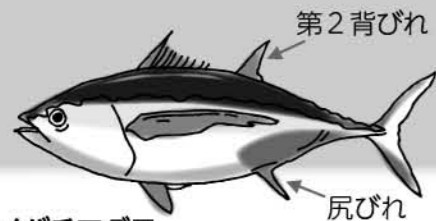
「実習する生徒は、2年生の海洋科航海コースと機関コースの生徒で、その年にもよりますが約40人です。漁場は太平洋ハワイ島の南西側で、55日間の航海になります。3県で順番に実習しますので、福岡は9月

17日から11月10日までです。この間にさまざまな技術を身に付けて帰ってきます」と語ります。ちょうど、この広報ふくつが発行される頃は、生徒たちは太平洋上にいるということです。

皆さんの期待感ややる気や喜びに
 水産高校は文部科学省管轄の初等中等教育施設であると同時に、国土交通省管轄の船舶職員養成施設でもあります。このため、学習内容も多様です。航海コースでは、大海原で太陽や星を見て自船の位置を正確に把握する技術や気象予報技術、船舶運行技術の習得を目指します。機関コースでは、エンジン制御、ボイラや冷凍機の運転、機械設計工作等の技術を学びます。ともすればマグロ捕りだけが注目されますが、それ以外にもたくさんさんの技術を身に付ける実習なのです。

「でも、地元である福津市のたくさんのかたにマグロを楽しむにしてもらっていることは、生徒たちのやる気や喜びに間違いなくつながっています」と笑顔で語ってくれました。

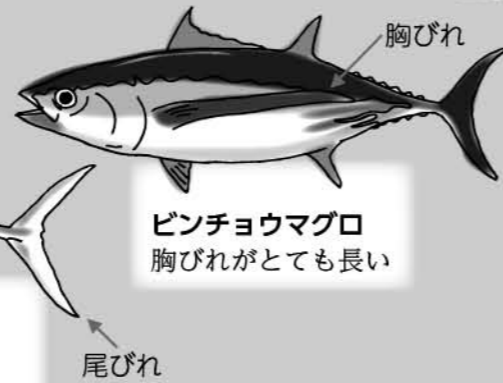
こんな種類のマグロが捕れちゃいます！



メバチマグロ
 胸びれは第2背びれ、尻びれより長い。第2背びれ、尻びれはあまり長くない

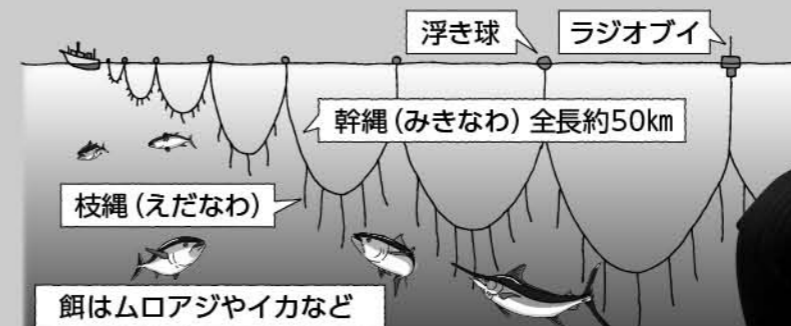


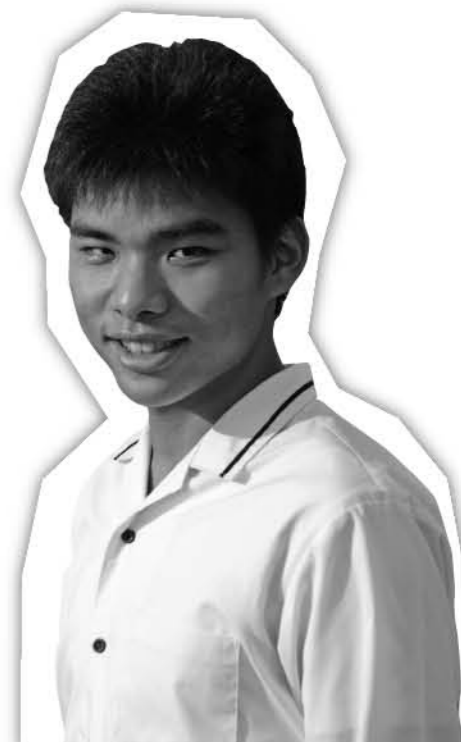
キハダマグロ
 背びれと尾びれは黄色く成長とともに著しく伸びる



ピンチョウマグロ
 胸びれがとても長い

これがマグロ狙いの仕掛け。大きく長い！





夢に向かって
希望した進路

「夢は船乗り。保育園のときからの夢です。船長に憧れて水産高校の航海コースを選びました」と少し気恥ずかしそうな感じで語る柴田さん。親や親戚など、自分の周辺に船乗りがいたからというわけではないそうで、とにかく小さいときから海が大好きだったという。「先日、瀬戸内海を周る1週間の航海実習がありました。楽しかったです。波による多少の揺れはありましたが、ひどく酔いするということはありませんでした。それよりも操舵室で見回り実習とかをすることができたので、うれしくて」と、楽しくてしかたなかった初航海実習の喜びを笑顔で語ります。

座学では分からないことが
たくさん学べる

太平洋でのマグロはえ縄漁業実習に不安はないのでしょうか。青空が広がる波がない日はかりとは限りません。ひとたび荒れると船の高さを超す大波になることもあります。これが実習先の太平洋です。

柴田さんは「確かにマグロの実習は太平洋でありますし、長期間です。心配がないといえは嘘になります。波が高くて酔いもするでしょうし、想像できないような、いろいろなことが起こるかもしれません。でも、そういった不安よりも、ワクワクする気持ち、楽しみにする気持ちのほうがずっと強いんですね。だって教室では学べないこと、座学では分からないことがたくさん学べますから。そして、それは普通の高校生は決して体験することができない特別なことです。マグロを捕るなんて、大人でもそうそう出来ることではありませんよね」とキラキラと目を輝かせて笑いながら語ってくれました。

#3 期待いっぱい不安ちょっぴり

今年もマグロを捕ってくる!

夢と希望をのせて太平洋へ船の実習。生徒はどのような気持ちで実習へと行くのでしょうか。実習へと旅立つ前に、2年生航海コースの柴田誠也さんに話を伺いました。 ▲海洋科 航海コース 柴田誠也さん



海友丸概要

竣工	平成22年3月
造船所	長崎造船株式会社
全長	67.74m
幅	10m
魚倉容積	(保冷倉)37.80m ³ (凍結庫)38.97m ³ (準備室)21.70m ³
総トン数	698トン
定員	90人



◀ 11月10日まで実習に出ている生徒たち。出発の前に撮りました。

販売します 水高マグロを



ながしま たかと
永島 孝人さん 64歳
(渡区)

はなだ きよみ
花田 清美さん 57歳
(渡区)

はま えいじ
浜 栄次さん 57歳
(北の1区)

にすぎみ よしひろ
西住 芳弘さん 62歳
(北の1区)

あかま ゆきあき
赤間 幸明さん 55歳
(北の2区)

いのうえまさのり
井ノ上政徳さん 65歳
(新町区)

#4 俺たち応援しとうばい!

期待と夢の水高マグロ!

毎年今年で3回目
行列です



水産高校生がワクワクドキドキして捕ってくるマグロですが、水揚げは福岡市。しかし、できれば地元の福津市で販売したい。福津市の人に食べてもらいたい。高校生の応援にもなるし、地域も元気になれるはず。そんな熱い気持ちが宗像漁協津屋崎支所にはあります。漁師に話を聞きました。

宗像漁協津屋崎支所でインタビュー
高校生に
夢は広がる

西住さん 大海原じゃあ陸地が恋しくなるとよ。来る日も来る日も海しか見えないもんね。浜さん 島が見えるとうれしいよね。

井ノ上さん 高校生が太平洋でマグロ捕りやけんね。今じゃ女の子も乗っとるもんね。船酔いも鍛えられるし、根性もいる。浜さん いい時ばかりじゃないもんね。大荒れの日もあるし、何も捕れん日もあるけんね。マグロはがんばらな捕れんよ。

永島さん 授業の一環というても、捕ってきとるからすごい。だけん大事にせな。赤間さん 津屋崎支所で扱えるとうれしいよ。

井ノ上さん 実習はほんとにいい経験になる。一つの船の中でみんなで協力して操業するけん、人と人のつながりやら信頼関係やらも学んで帰ってくる。花田さん 生徒が一人前になって帰ってくるもんね。永島さん 水産高校が近くにあって、お互いに恵まれとう

ね。定置網の実習とかもあるもんね。花田さん 刺激になっとうね。これから先も高校と協力して、互いに成長できりゃいいね。西住さん 俺たちも歳とってきて同じことの繰り返しになっとうきと。だけん高校生の感性、考え方が刺激なるとよ。赤間さん 高校生のチャレンジ精神で、新しい漁業の形ができるかもしれんよ。

売り切れ御免

